

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)は、河川再生に関わる事例・経験・活動・人材等を交換・共有することを通じ、各地域に相応しい河川再生の技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目的に2006年11月に設立されました。また、日中韓を中心に活動する「アジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN)」の日本窓口として、日本の優れた知見をアジアに向け発信し、同時に海外の素晴らしい取組みを日本国内に還元する役割を担います。

目次	Pages
➤ JRRN 事務局からのお知らせ.....	1
➤ 寄稿記事.....	4
➤ JRRN 会員・ARRN 関係者からのお知らせ.....	9
➤ 会員募集中.....	10

巻頭書記

JRRN 事務局のある東京でもようやく桜が開花し、待ちに待った春が今年も訪れました。同時に日本では新年度を迎え、今年度の新たな目標を掲げ、いろいろ新しいことに挑戦してみようと意気込んでいる方も多いのではないのでしょうか。

JRRN 設立から6年目となる2012年度は、全国で河川再生に取り組む産学官民の様々な立場の方々と交流を深めながら、協働活動などを通じて、各地域に相応しい河川再生の技術や仕組みづくりの発展にこれまでで

上に貢献できればと考えております。

本号では、先月から開始した「桜のある水辺風景写真」募集案内、2011年度JRRN刊行物、3月開催の技術交流会報告をご紹介します。また寄稿記事では、1月から2月にかけて皆様にもご協力頂きましたWeb版「川の通信簿」アンケートの結果概要とお礼、また「水辺からのフォトメッセージ35」を掲載しています。

河川再生に関わる更なる情報循環と交流の活性化に向け、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

JRRN 事務局からのお知らせ(1)

『桜のある水辺風景 2012』写真募集中(5/31〆切)

応募要領

- ・テーマ : 『桜のある水辺風景 2012』
- ・応募資格 : JRRN 会員または会員登録予定の方
- ・応募作品 : 2012年に撮影された桜のある水辺の写真
 - * 応募者ご本人が撮影され、未発表のものに限ります
 - * 応募はお一人何点でも結構です。
 - * 写真に込めた皆さまの思いをコメントとして添えて下さい。
- ・応募方法 : 「応募シート」に必要事項を記入し、JRRN 事務局までお送り下さい。
- ・応募期間 : 2012年3月1日(木)～5月31日(木)
- ・応募作品の取り扱い : お寄せいただいた写真は、応募期間終了後に写真集『桜のある水辺風景 2012』としてとりまとめ、HPで公開するほか、JRRN ニュースレター等、JRRN の刊行物で紹介させていただきます。



応募要領案内チラシ

■詳しい応募要領はコチラ (PDF 400KB)

<http://www.a-rr.net/jp/info/letter/docs/JRRNsakura2012.pdf>

『桜のある水辺風景 2011』写真集はコチラ (PDF 2.2MB)

<http://www.a-rr.net/jp/info/letter/docs/JRRNsakura2011report.pdf>

『桜のある水辺風景 2010』写真集はコチラ (PDF 1.7MB)

<http://www.a-rr.net/jp/info/letter/docs/JRRNsakura2010report.pdf>

JRRN 事務局からのお知らせ(2)

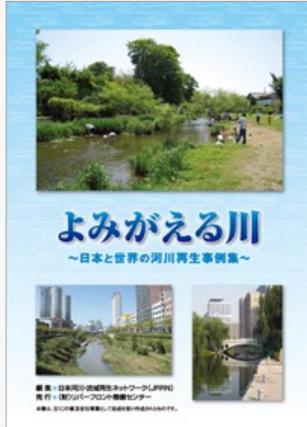
2011 年度の JRRN 刊行物のご案内 (河川再生事例集・河川再生手引き・講演録等)

昨年度の JRRN 刊行物ラインアップをご紹介します。

※すべて JRRN ウェブサイトよりダウンロード可能

■ よみがえる川～日本と世界の河川再生事例集

国内外の河川再生事例をとりまとめた JRRN 編集「よみがえる川～日本と世界の河川再生事例集～」を 2011 年 3 月に発刊し、「6 月 5 日・環境の日」に合わせて電子版を JRRN ウェブサイトに公開しました。

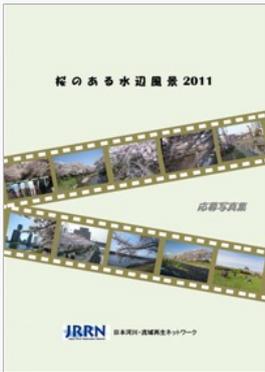


■ 第 8 回水辺・流域再生に関わる国際フォーラム講演録

2011 年 11 月 11 日(金)に開催しました ARR/ARRN 主催「第 8 回水辺・流域再生にかかわる国際フォーラム」(河川整備基金助成事業)の講演と質疑応答の様子を講演録として取りまとめ、2011 年 12 月に公開しました。
(日本語版:12 月、英語版:1 月)



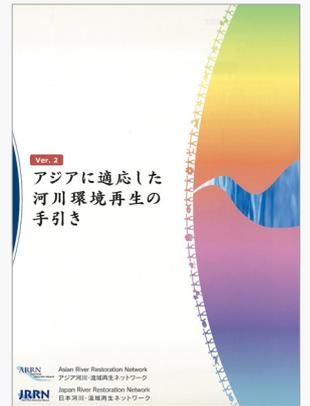
■ 桜のある水辺風景 2011 写真集



JRRN 会員の方々よりご応募頂きました 2011 年の桜の水辺写真をとりまとめた桜の水辺風景写真集を 2011 年 6 月に発行しました。

■ アジアに適応した河川環境再生の手引き ver.2

2009 年 4 月の初版(ver.1)発行以降、ARRN を構成する日本・中国・韓国の関係者で検討を重ねてきました「アジアに適応した河川環境再生の手引き ver.2」を 2012 年 2 月に公開しました。
(日本語版:2 月、英語版:3 月)



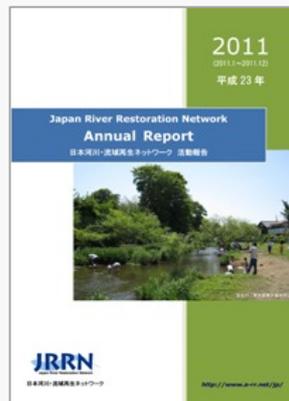
■ JRRN 河川環境ミニ講座 講演録 (3 回分)

第 7 回～第 9 回の JRRN 河川環境ミニ講座の講演と質疑応答の様子を講演録として取りまとめ、JRRN ウェブサイトを通じ公開しました。

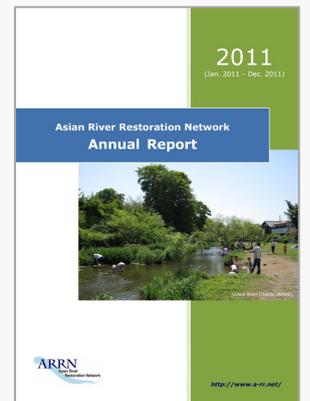


■ JRRN/ARRN 活動報告 2011 (年次報告)

JRRN 及び ARRN の 2011 年(1 月～12 月)の活動内容を取りまとめた「活動報告 2011」を発行しました。
(JRRN 日本語版:2 月、ARRN 英語版:3 月)



JRRN 活動報告 2011



ARRN 活動報告 2011

(JRRN 事務局・和田彰)

JRRN 事務局からのお知らせ(3)

2012.3.8(木)「台湾高雄市視察団の鶴見川視察支援」報告

総合治水対策や地域住民協働の河川管理に関わる日本の先進的取組みの視察を目的に、台湾高雄市の市長を団長とする視察団(約35名)が、2012年3月8日(木)午前には鶴見川流域センターを訪問し、鶴見川を管理する国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所による詳しい取組の説明や活発な意見交換が行われました。



開会挨拶(京浜河川事務所長)



多目的遊水地の見学

〈視察行事の概要〉

- ・京浜河川事務所長及び高雄市長による挨拶
- ・鶴見川及び総合治水対策の説明、意見交換
- ・鶴見川流域センター展示室説明、地域連携活動紹介
- ・多目的遊水地の見学

約30年に渡る鶴見川流域における総合治水の取組み、中でも国・自治体・市民・学識者の協働による鶴見川再生に向けた様々な活動について、高雄市関係者から賞賛の声を頂くとともに、多くの質問がなされました。

なお、JRRNは、台湾高雄市を流れる愛河再生に関わる講演会を2007年に開催以降、高雄市関係者をはじめ台湾関係団体との交流を継続的に行い、今回の鶴見川視察に際しては視察受入先との調整役を担いました。

今回の視察に際し大変お世話になりました国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所の皆様に厚く御礼申し上げます。



関係者での記念撮影

JRRN 事務局からのお知らせ(4)

2012.3.9(金)「韓国・未来資源研究院との河川再生に関わる技術交流」報告

2012年3月9日(金)、韓国の民間シンクタンク「未来資源研究院」所属の研究員2名が来日され、河川再生全般に関わる法制度や施策の変遷などについて、JRRN事務局との意見交換を行いました。

「未来資源研究院」は、気候変動適応策、水資源を含む資源管理政策、流域総合管理、環境管理などを研究するシンクタンクで、韓国の今後の水分野の政策立案に向け、日本の関連情報収集や意見交換を目的に日本国内の複数の関連機関を訪問されるとのことでした。

JRRN事務局では、引き続き未来資源研究院との交流を続けながら、韓国における河川再生の最新情報を学び、日本国内にその知見を還元してまいります。



意見交換の様子

- ・未来資源研究院ホームページ(日本語ページあり)

<http://www.future.re.kr/>

寄稿記事(1)

WEB版「川の通信簿」試行結果の報告

寄稿者：「川の通信簿」事務局

JRRN 会員皆様には、検討中の Web 版「川の通信簿」（一般公開用）の試行にご協力を頂き、誠にありがとうございました。

この度、試行結果をとりまとめましたので、ご報告させていただきます。

1. 試行の概要

表 試行対象者とアンケート実施方法

対象者	川に親しみのある一般市民※	川に親しみのうすい一般市民
実施期間	H24. 1. 24(火)～2. 10(金)	H24. 1. 26(木)～2. 1(水)
呼びかけ	・現地看板 ・河川管理者の呼びかけ ・事務所 HP への掲載 ・JRRN を活用した呼びかけ	WEB モニターを用いた 試行アンケート
アンケート回答方法	WEB 版川の通信簿 TOP ページからアンケートページに移り回答	リサーチ会社作成のサイトから回答
回答数	130 名	449 名

※JRRN 会員から頂いた回答はこの区分で集計

試行期間の WEB サイト利用状況

- 新規登録者数：336 名
- 評価地点数（のべ）：202 箇所
（散策たたずみ：175 箇所、水遊び：27 箇所）

2. アクセス解析（設定期間：1/25～2/10）

●訪問数

- ・全体訪問数：2,095
- ・ユーザ数：1,609
- ・ページビュー数：14,530
- ・平均ページビュー：6.94
- ・平均サイト滞在時間：6 分 24 秒
- ・直帰率：33.75%

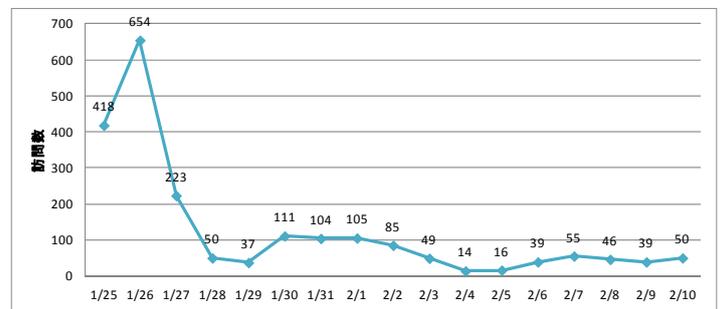


図 訪問数の日変化

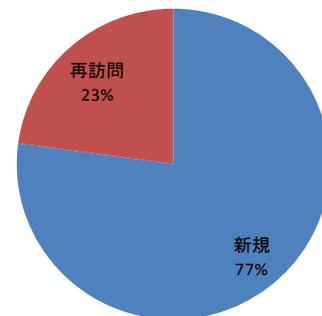


図 訪問数の割合

3. 試行アンケート結果

試行アンケートは、河川に親しみのある一般市民と、親しみのうすい一般市民に分けて実施しましたが、選択式の設問では結果に大きな違いは出ませんでした。アンケートの最後に記入いただいた自由意見では、河川に親しみがある一般市民(JRRN の会員を含む)の方からは、サイトのあり方について有意義なご意見を多く頂きました。

ここでは、選択式の回答について、親しみがある市民と親しみがうすい市民の回答を合わせた結果を次ページ以降でご紹介します。



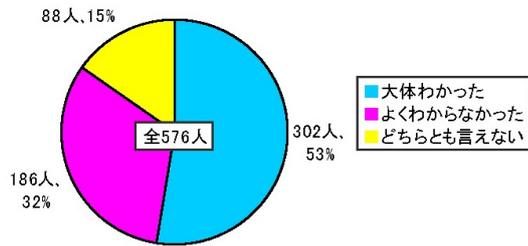
評価結果の WEB 画面

（本試行期間中で最も評価者数が多かった地点のサンプル）

1) サイトの使いやすさ（操作性）

Q. トップページでこのサイトの目的はわかりましたか？

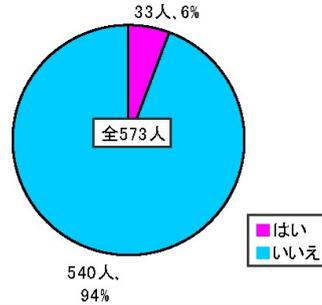
一般市民(親しみあり+うすい)



- ・ サイトの目的が「わかる」が半数以上であったが、約3割は「よくわからなかった」と回答されている。

Q. 操作が鈍い・重いなどの反応の悪さは感じられましたか？

一般市民(親しみあり+うすい)

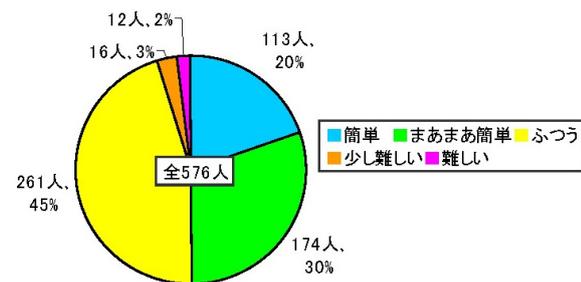


- ・ 9割の利用者は操作性に問題なく利用できたことがわかる。
- ・ 一部の方は、サイトの操作性が悪いと感じている。

2) 評価する

Q. 「評価する」の操作は簡単にできましたか。

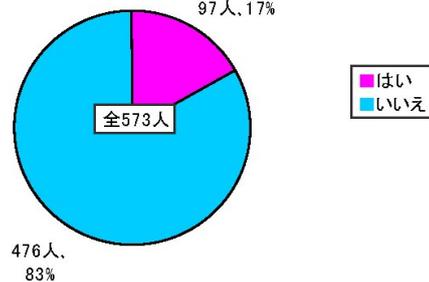
一般市民(親しみあり+うすい)



- ・ 簡単、まあまあ簡単、ふつうを合わせると9割以上が問題なくに評価できたと回答されている。

Q. 利用目的は「散策・たたずみ」「水遊び」の2つ以外にも必要だと思いますか。

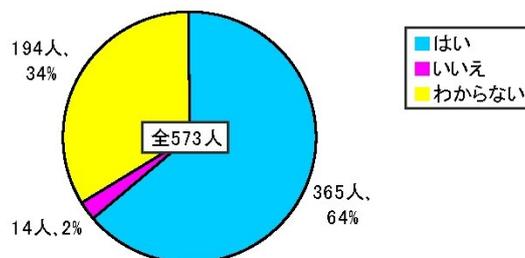
一般市民(親しみあり+うすい)



- ・ 8割以上の方は、「散策・たたずみ」「水遊び」の2つの利用目的でよいと回答されている。

Q. 「この場所の特徴は何だと思いますか？」の設定項目は適切と思いますか。

一般市民(親しみあり+うすい)

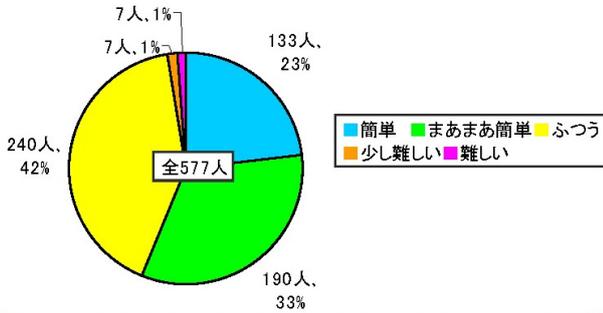


- ・ 評価項目は、約6割の方が適切だと思っていることがわかる。
- ・ 「わからない」の割合が3割程度と多い。
- ・ これ以外の設定項目についても概ね同様の結果となった。

3) 評価結果を見る

Q. 「評価結果を見る」の操作は簡単にできましたか。

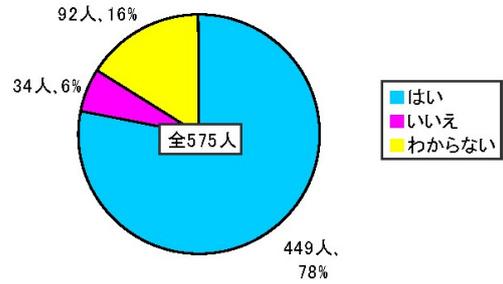
一般市民(親しみあり+うすい)



- ・簡単、まあまあ簡単、ふつうを合わせると9割以上が問題なく評価できたと回答されている。
- ・「評価する」よりも「評価結果を見る」方が簡単に操作できることがわかる。

Q. 地点の選び方はわかりやすいですか。

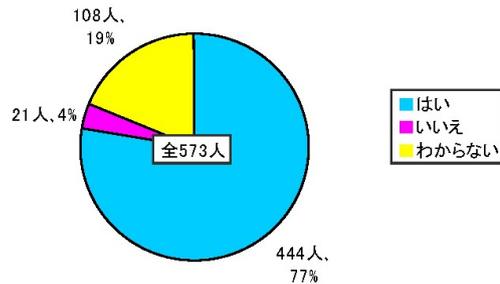
一般市民(親しみあり+うすい)



- ・8割程度が地点の選び方はわかりやすいと回答されている。
- ・地図からの選択でわかりにくい理由としては、地点を示すバールンが重なって選択しにくい、評価された地点を示す目印(足跡としずく)がわかりにくいとの意見があった。
- ・検索・河川名からの選択が使いにくいとの意見もある。

Q. 各地点の評価結果の画面レイアウトは見やすいですか。

一般市民(親しみあり+うすい)

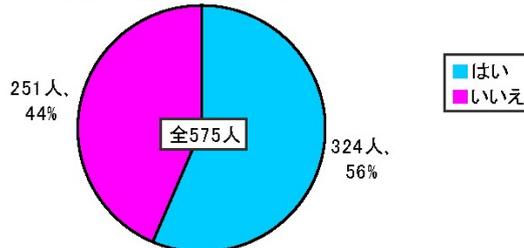


- ・8割程度が見やすいと回答されているが、一部見にくいとの指摘があった。
- ・指摘では、行間が詰まっている、文字が小さいため見にくい、都道府県名を表示して欲しいなどであった。

4) ランキング

Q. 「ランキング」はご覧になりましたか？

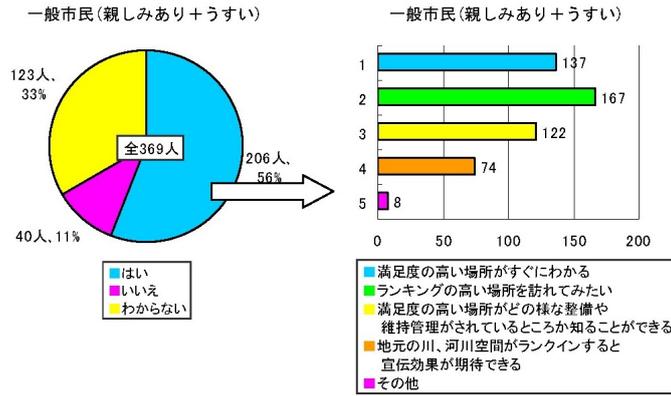
一般市民(親しみあり+うすい)



- ・半分程度がランキングを見ている。

4) ランキング (続き)

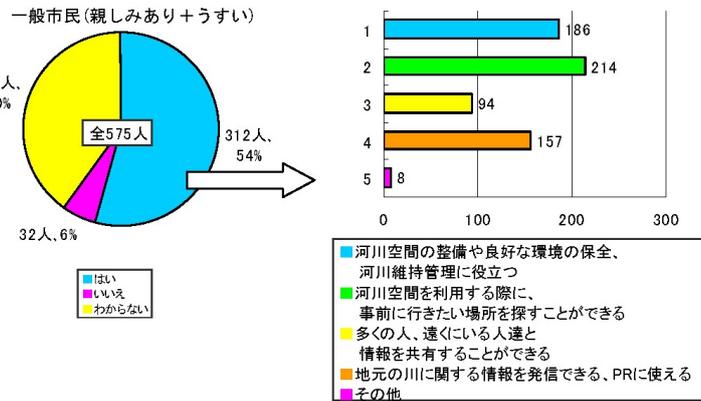
Q. 「ランキング」は役立つと思えましたか？ Q どのような役に立つと思えますか



- ・半数以上の方が役立つと思っている。また使い方としては、ランキングの高い場所を訪れてみたいという回答が多い。
- ・その他の意見
評価が高い箇所だと安心して行ける、子供を遊びに連れて行くときの参考になる 等

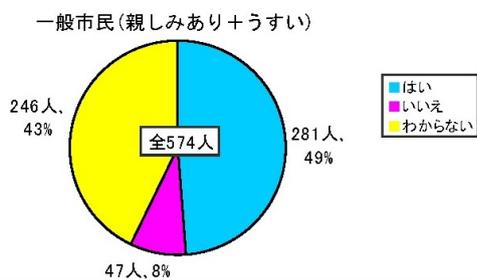
5) 川の通信簿サイトへの興味

Q. 本サイトは役に立つと思えましたか。 Q どのような役に立つと思えましたか。



- ・約半数が役に立つと思っていることがわかる。
- ・その他の意見
身近に自然に親しむ場所があることを知らせることができる、川が好きな人は必ず役に立つと思う、イベント開催などを知りたい 等

Q. また利用したいと思えましたか・



- ・約半数がまた利用したいと思っている。
- ・わからないとの回答が多い。

Q. このサイトを利用して、身近な川に行ってみたく思いましたか。



- ・6割程度がこのサイトを参考にして川に行ってみたく思っている。
- ・「いいえ」の回答者は河川に興味のない人が多い。

4. 試行結果を踏まえた WEB システムの修正

みなさまから回答頂いたアンケート結果を参考に、WEB システムの修正を行っています。
今後、川の通信簿の正式な公開時期を迎えました

ら、またみなさまにお知らせいたします。
この度は、試行やアンケートへご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

水辺からのメッセージ No.35

国土文化研究所 特任研究員 岡村幸二 (JRRN 会員)

風景は時を越えて継承する：
水路を軸とした景観に家並や生垣などが自然と風情を重ね合わせている



撮影：2010年4月（山口県萩市）

◆生活に取り込まれている藍場川

萩の骨格河川である松本川から水を引き込み、まちの中心を縫うように流れる藍場川は、江戸時代から昭和初期までは生活用水として使われました。制御された水の流れからは山水都市の表情が伝わり、萩の風情を伝える景観資源として、家々の庭先の一部のように維持している様子が見えます。

※国土文化研究所は、株式会社建設技術研究所のシンクタンク組織です。

■ JRRN 会員皆様からの寄稿記事を募集しています！

旅先で見かけた水辺の風景や思い、水辺再生に関わる様々な活動報告、また河川環境再生に役立つ技術等、JRRN 団体・個人会員皆様からの寄稿記事をお待ちしています。（JRRN 事務局）

JRRN 会員・ARRN 関係者からのお知らせ(2012 年 3 月末までの提供分)

【JRRN 会員からの提供情報】

■『フォーラム 誰のために河川を美しくするのか』 (3/10 開催) ※本行事は終了しました

「カップ研究会」より御提供頂いたイベント情報です。

- 主催：琵琶湖淀川流域圏 連携交流会
- 日時：2012 年 3 月 10 日(土) 13:30~16:30
- 場所：淀川河川事務所 伏見出張所内 流域センター



◆詳細は以下参照
<http://www.a-rr.net/jp/exchange/event/3129.html>

【JRRN 会員からの提供情報】

■「河川文化を語る会」

JRRN 団体会員である公益社団法人日本河川協会から河川文化を語る会のご案内です。

【第 166 回】

- ◆テーマ：「災害時の人間の心理と行動」
 - ◆講師：広瀬弘忠氏（安全・安心研究センター センター長／東京女子大学名誉教授）
 - ◆日時：2012 年 4 月 17 日（火）18:00~20:00
 - ◆場所：厚生会館（全国土木建築健保）
- <http://www.a-rr.net/jp/exchange/event/3114.html>

【第 167 回】

- ◆テーマ：「金子みすゞさんのうれしいまなざし ～ながれの岸で“いのち”を思う～」
 - ◆講師：草場 睦弘（金子みすゞ記念館主任兼企画員）
 - ◆日時：2012 年 5 月 12 日（土）14:00~16:00
 - ◆場所：山口県健康づくりセンター（山口市）
- <http://www.a-rr.net/jp/exchange/event/3145.html>

【第 168 回】

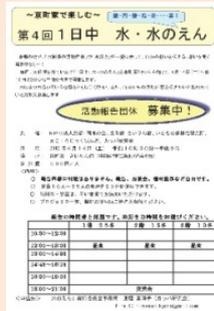
- ◆テーマ：「いきものから知る都市河川の変化」
 - ◆講師：福嶋悟（藻類研究所分析センター長）
 - ◆日時：2012 年 6 月 4 日（月）18:00~20:00
 - ◆場所：厚生会館（全国土木建築健保）
- <http://www.a-rr.net/jp/exchange/event/3159.html>

【JRRN 会員からの提供情報】

■『みずのえん 2012 春・発表募集「第 4 回 一日中 水・水のえん」』(4/14 開催)

京都の水関係の団体が一堂に会して水に係わる好きなことを話し、自由に過ごす・「一日中・水のえん」のご案内です。

- 主催：NPO 法人京都・雨水の会 等
- 日時：2012 年 4 月 14 日(土)
- 場所：京町家 さいりん館



◆詳細は以下参照
<http://www.a-rr.net/jp/exchange/event/3132.html>

【海外からの提供情報】

■「第 6 回世界水フォーラムにおける ECRR 主催・河川再生分科会」案内 ※本行事は終了しました

ECRR（ヨーロッパ河川再生センター）事務局より、2011 年 3 月にフランス・マルセイユで開催される第 6 回世界水フォーラムでの（ECRR 主催）河川再生分科会のご案内を頂きました。

「河川生態系の保全と再生」を主テーマに、河川再生の優良事例の共有方法、街づくりと連携した川づくりや持続可能な観光開発、更に社会一般への教育と利害関係者の協働などが議論されます。



◆詳細は以下参照
<http://www.a-rr.net/jp/exchange/news/3127.html>

【海外からの提供情報】

■「第 13 回 英国河川センター年次会議」案内

River Restoration Centre（英国河川再生センター）の第 13 回年次発表会の最終申込案内（4/5 〆切）を頂きました。本年の会議は EU LIFE++ 基金で進められている欧州河川再生普及事業（RESTORE）と共催で実施されます。



◆詳細は以下参照
<http://www.a-rr.net/jp/exchange/news/3161.html>

会員募集中

■ JRRN の登録資格（団体・個人）

JRRN への登録は、団体・個人を問わず**無料**です。
市民団体、行政機関、民間企業、研究者、個人等、所属団体や機関を問わず、河川再生に携わるすべての方々のご参加を歓迎いたします。

■ 会員の特典

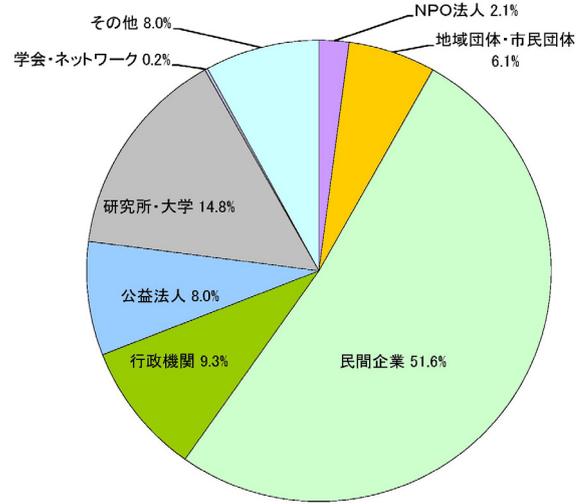
会員登録をされた方々へ、様々な「会員の特典」をご用意しています。

- (1) 国内外の河川再生に関するニュースを集約した「JRRN ニュースメール」が週に1回～2回メール配信されます。
- (2) 国内外のセミナー、ワークショップ等の開催情報が入手できます。また JRRN 主催行事に優先的に参加することが出来ます。
- (3) 必要に応じた国内外の河川再生事例等の情報収集の支援を受けられます。
- (4) JRRN を通じて、河川再生に関する技術情報やイベント開催案内等を国内外に発信できます。
- (5) 韓国、中国をはじめとする、ARRN 加盟国内の河川再生関連ネットワークと人的交流の橋渡しの支援を受けられます。

■ 会員登録方法

詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.a-rr.net/jp/info/member.html>



2012年3月30日時点の個人会員構成
(個人会員数：545名、団体会員数：43団体)

JRRN 会員特典一覧表(団体会員・個人会員)

JRRNが提供するサービス		JRRN 団体会員	JRRN 個人会員	非会員 (一般の方)
1	ホームページへのアクセス及び各記事へのコメント入力 ^{※1}	◎	◎	◎
2	ホームページ「イベント情報」欄でのイベント掲載 ^{※2}	◎	◎	◎
3	ニュースメール(週2回)の配信 ^{※3}	◎	◎	×
4	Newsletter(毎月)及び年次報告書(年1回)等の発刊案内メールの配信 ^{※3}	◎	◎	×
5	JRRN/ARRN主催行事の優先案内・優先参加 ^{※4}	◎	◎	×
6	国内外の河川再生関連情報・技術収集や専門家・組織紹介の支援 ^{※5}	◎	◎	×
7	ホームページ「最近の話題・ニュース」及びニュースメール「会員提供情報」欄で団体が関わる行事や出版、技術や製品等の案内の掲載 ^{※6}	◎	△ ^{※7}	×
8	ホームページ「会員登録」「人・組織のつながり」欄及び年次報告書内で団体名の掲載	◎	×	×
9	ARRN活動に関連する英語ニュース(ARRN Newsletter等)の不定期配信 ^{※8}	◎	×	×
10	JRRN及びARRNが保有する国内外専門家・団体等との連携等の支援 ^{※9}	◎	×	×

【発行・問合せ先】


日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局
 公益財団法人リバーフロント研究所 内
 〒104-0033 東京都中央区新川1丁目17番24号 新川中央ビル7階
 Tel:03-6228-3862 Fax:03-3523-0640 E-mail: info@a-rr.net URL: <http://www.a-rr.net/jp/>

JRRN は、「アジア河川・流域再生ネットワーク構築と活用に関する共同研究」の一環として、公益財団法人リバーフロント研究所と株式会社建設技術研究所国土文化研究所が公益を目的に運営を担っています。


**公益財団法人
リバーフロント研究所**

**建設技術研究所
国土文化研究所**